

平成24年度事務事業評価一覧

No.	調書No.	担当課	担当班	事業名	内容	A: 拡大、B: 継続、C: 統廃合 D: 縮小、E: 廃止・休止、F: 終了			
						担当者	担当課長	評価委員会	理由等
1	11	総務課	防災管財班	湯沢高原ロープウェイ関連施設整備	湯沢高原ロープウェイは湯沢町の重要な観光設備であるため、施設の維持及び誘客促進に向けた施設整備を行う。	B	B	B	夏期誘客の拠点として継続する。冬期スキー場については過剰投資とならないよう留意する。
2	14	総務課	企画財政班	国際交流事業	米国ユタ州マグナ地区への中学生派遣、マグナからのホームステイ受け入れなどの交流を通じて、豊かな人間性を育むとともに英語力の向上と国際感覚を養う。	B	B	B	姉妹都市協定を締結した中で、中学生のホームステイを中心とした交流から少しずつ範囲を広げていく。海外交流を主にした民間組織を立ち上げたい。
3	13	総務課	企画財政班	路線バス運行補助金	必要最低限の生活交通手段を確保するため、路線バス運行业者に運行費用の一部を補助する。	D	C,D	C	統合小中学校開校に向け見直し再編を検討する。森宮野原線については関連自治体会議の中で縮小減額交渉をする。
4	27	税務課	収納班	徴収嘱託員の配置	首都圏及び町内の滞納圧縮、差押事務を効率化し換価を進めるため、東京事務所及び町内に徴収嘱託員を配置する。	B	B	B	首都圏を中心に多数の納税義務者がいる中では効率的効果的に徴収できる体制は重要であり継続の必要性がある。
5	77	町民課	町民生活班	ごみ収集運搬(一般廃棄物、不法投棄ごみ)	一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないよう収集運搬及び処理を行う。	B	B	B	一般廃棄物の処理責任は市町村にあり継続する必要はあるが、委託金額の見直しも必要である。
6	32	健康福祉課	福祉介護班	重度心身障がい者医療費助成事業	重度心身障がい者にかかる医療費を助成することにより、福祉の増進を図る。	B	B	B	重度心身障がい者の医療費負担を軽減するためにも必要であり継続する必要がある。
7	64	健康福祉課	国保保健班	高齢者インフルエンザ予防接種事業	高齢者へインフルエンザ予防接種を実施し、感染・発症・重症化・感染症蔓延予防を図る。	B	B	B	重篤化しやすい高齢者には必要な事業であり、県内統一価格で行っていることから、その範囲内で実施する。
8	65	健康福祉課	国保保健班	子宮頸がん等予防ワクチン接種事業	子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を行うことにより、疾病の発病及びその重症化を防止する。	B	B	B	国の補助対応の範囲内で継続することが必要である。
9	67	健康福祉課	国保保健班	子ども医療費助成事業	保護者の経済的負担軽減を図るため、児童の医療費の一部をその保護者に助成することにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を作る。	A	A	B	平成24年9月に対象を中学生までとする拡大を行った。
10	70	健康福祉課	国保保健班	妊婦一般健康診査助成事業	妊婦の健康管理の充実及び妊娠・出産にかかる経済的負担を軽減を図ることで、安心して子どもを産むことができる環境を作る。	B	B	B	安心して妊娠・出産可能な環境が必要であることから継続する。
11	72	健康福祉課	国保保健班	住民健診(検診)事業	生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的に、基本健診、がん検診を実施する。	B	B	B	早期発見、早期治療を通し健康維持や医療費抑制のために継続が必要である。
12	98	産業観光課	観光交流班	こらっしゃい湯沢収穫祭事業負担金	こらっしゃい湯沢収穫祭を支援することにより、地域資源の掘り起こし、地域産業の活性化を図る。	B	B	B	町民全体で取り組むイベントとして定着していることから継続が必要である。経費の削減を検討し、事業費の縮小を図る。
13	100	産業観光課	観光交流班	湯沢町観光誘客宣伝事業 外国人旅行誘客事業	国内・海外宣伝事業について湯沢町観光協会が主体となって進める事業を支援し、町の基幹産業である観光の集客力を向上させる。	B	A	B	町の基幹産業である観光事業を継続する必要がある。また、外国人誘客は東アジアをターゲットとして実施を検討する。
14	105	産業観光課	観光交流班	越後湯沢秋桜マラソン大会	毎年9月第4日曜日に行われる「越後湯沢秋桜マラソン大会」の運営費を補助することにより、湯沢の魅力PRを図る。	B	B	B	秋のイベントとして定着している。参加者も増加していることから事業は継続する必要がある。
15	107	産業観光課	観光交流班	元気な観光地づくり推進事業補助金	町内の各観光協会等の団体が実施する観光PR及び誘客促進事業に対し補助金を交付することにより、観光産業の活性化と観光客数の増加を図る。	B	B	B	基幹産業の発展のためには必要であるため、継続する。
16	108	産業観光課	観光交流班	コンベンション誘致推進事業補助金	町内で会議、競技会を実施する各種団体へその開催費の一部を補助することにより、大人数の誘客と湯沢の魅力PRを図る。	B	B	B	観光客誘致のためには必要であるため、継続する。
17	93	産業観光課	観光交流班	商工会運営費補助金	湯沢町商工会運営費を補助することにより、地元企業・事業者の経営基盤強化と地域経済の活性化を図る。	B	B	D	自立した運営を促す。
18	99	産業観光課	観光交流班	湯沢町観光協会運営費補助金	湯沢町観光協会の事務費を補助することにより、プロモーション機能とインフォメーション機能を強化し、町の基幹産業である観光の集客力を向上させる。	B	B	D	自立した運営を促す。
19	104	産業観光課	観光交流班	雪国観光圏事業負担金	湯沢町、南魚沼市、津南町、長野県栄村、群馬県みなかみ町等の7市町村が連携して広域観光を推進する「雪国観光圏」事業を支援し、長期滞在と国際観光時代へ対応する。	D	D	D	国の補助が終わる中で事業縮小する必要がある、町の通常の宣伝により対応できる可能性もあることから負担金は縮小する。
20	97	産業観光課	観光交流班	事業者用リフォーム支援事業	事業者の事業環境の向上と町内建築関連業者の振興を図るため、事業者用施設のリフォームを行う者に対し、その費用の一部を補助する。	B	E	E	平成25年度をもって終了する。

平成24年度事務事業評価一覧

No.	調書No.	担当課	担当班	事業名	内容	A:拡大、B:継続、C:統廃合 D:縮小、E:廃止・休止、F:終了			
						担当者	担当課長	評価委員会	理由等
21	106	産業観光課	観光交流班	観光宣伝協力事業	各地区観光協会エリア内の入湯税納税額に応じて観光宣伝協力報奨金を交付し、誘客活動の活性化を図る。	C	C	E	平成26年度から湯沢町観光協会への補助金へ統合する。
22	23	産業観光課	産業振興班	国土調査事業	地籍の明確化を図るため、地籍調査成果図及び課税台帳備付地図を作成する。	B	B	B	町の根幹となる地籍を明確にすることは重要であり継続する必要がある。
23	87	産業観光課	産業振興班	花の郷運営管理事業	旭原地区の体験工房大源太周辺に春に菜の花、秋にコスモスを植栽し、花に囲まれた地区としての景観づくりを行う。	B	B	B	平成23年度に事業縮小した。旭原地区の景観整備は必要であり、継続する。
24	88	産業観光課	産業振興班	陶芸工房「旭窯」運営事業	グリーンシーズンの体験型観光の拠点として、旭原地区にある陶芸工房「旭窯」を管理・運営する。	B	B	B	天候に左右されない体験型屋内施設であり町の観光資源として継続が必要である。
25	89	産業観光課	産業振興班	体験工房大源太運営事業	四季を通じてそば打ち体験等の体験型観光を観光客に提供するとともに、湯沢の農産物や食材の魅力を発信する通年型観光の拠点である体験工房「大源太」を管理する。	A	A	B	天候に左右されない体験型屋内施設であり町の観光資源として継続が必要である。指定管理者とともに施設の有効利用を図る。
26	90	産業観光課	産業振興班	森林管理・環境保全直接支援事業	人工林の健全な育成に必要な下刈り、除伐、枝打ち、間伐等を行い、健全な森林を育成する。	A	B	B	森林保全や水源涵養に寄与することや環境保全の観点からも継続が必要である。
27	86	産業観光課	産業振興班	水田農業推進対策事業	水田の総合的活用を推進し食料自給率向上のために湯沢町の推奨する作物を出荷、販売する農家を支援する。	D	D	E	減反政策が変わり自由に水田を利用できるようになったため事業の縮小及び廃止をする。
28	22	地域整備課	三俣地域振興対策班	道の駅建設	「街道の湯」隣接地に道の駅を建設し、地域情報の発信施設として新たな地域の観光拠点とする。	B	B	B	三俣振興対策の一環であり地域の期待に応える必要がある。
29	21	地域整備課	三俣地域振興対策班	下排水路整備	三俣地域の下排水処理のため、管路を埋設する。	F	F	F	平成24年度から下水道事業として実施。
30	118	地域整備課	建設整備班	町道田中平沢線道路改良	町道田中平沢線と町道南田中線の交差点が変則交差点であり、国道17号線の歩道拡幅事業で危険性が増すため、改良を行い、安全で円滑な交通を確保する。	B	B	B	変則交差点を解消するため、継続する。
31	119	地域整備課	建設整備班	町道蓬線雪崩減勢柵新設	平成18年豪雪時にJR土樽駅付近で雪崩が発生し道路が遮断されたことから、県と共同で雪崩減勢柵を設置する。	B	B	B	現地に雪崩対策は必要であり、継続する。
32	120	地域整備課	建設整備班	町道中里スキー場線改良	町道中里スキー場線と町道古野蓬線が分断されていることから、通行不能区間の解消及び線形不良区間の改良を実施し、地域住民及び観光客の利便性向上を図る。	B	B	B	地域住民及び施設利用者の利便性向上のため、継続する。
33	132	地域整備課	建設整備班	住宅用リフォーム支援事業	町民の個人住宅の生活環境の向上と町内建築関連業者の振興を図るため、町内に存する住宅のリフォームを行う者に対し、その費用の一部を補助する。	F	B	E	平成25年度をもって終了する。
34	3	教育課	学校教育班	管理指導主事(県割愛校長格教員)配置事業	学校現場を熟知し、客観的な立場で教育現場に関わり、園児・児童・生徒のみならず教職員への指導も含めて対応する管理指導主事を教育課に配置する。	B	B	B	平成26年4月統合小中学校開校に向け高いレベルの教育をめざし取り組みのために継続が必要である。
35	136	教育課	学校教育班	クロスカントリー・スキーコース整備事業	県道除雪やゴールド越後湯沢カントリークラブの協力を得て冬期のゴルフ場をクロスカントリースキー場とし、児童生徒の授業や大会等の利用や町内外からの利用を目指す。	B	A	B	現在の状況と同程度において継続する。
36	170	教育課	学校教育班	学校給食センター設備改修事業	学校給食センターは建設から約20年が経過しているため、機械設備の老朽化が進んでおり、施設・設備の適切なメンテナンスや計画的な修繕及び機器の入替を実施する。	B	B	B	機器の老朽化が目立つため、計画的な更新が必要であり、継続する。
37	171	教育課	学校教育班	統合文教施設整備(建築)事業	耐力度不足の中学校建替とともに耐震強度不足と少子化が進む管内5小学校を統合し、新校舎を設立する。同じく管内保育園も統合し同じ敷地内に認定こども園を建設する。	B	B	B	施設の安全性の確保、教育・保育環境のレベルアップの観点から必要であり、継続する。
38	172	教育課	学校教育班	ALT(外国語指導助手)配置事業	英語授業の補助を行う外国人講師を2名配置し、児童生徒が生の英語に触れる機会を作るほか、保育園園児や公民館講座、国際交流関係の活動を行う。	B	B	B	国際化に対応するために英語力は必要不可欠であり、継続する。
39	175	教育課	学校教育班	特別支援学級等介助員配置事業	発達障害を抱える児童生徒に対して特別支援学級や通級指導教室などで個々にあった教育環境で学習を行うため、介助員を配置する。	B	B	B	個々の実情にあった教育環境の整備は重要であり、継続する。
40	57	教育課	子育て支援班	湯沢児童クラブ	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図る。	B	B	B	核家族化等により保護者のニーズは多くなっており継続が必要である。運営について指定管理者制度の導入を検討する。

平成24年度事務事業評価一覧

No.	調書No.	担当課	担当班	事業名	内容	A:拡大、B:継続、C:統廃合 D:縮小、E:廃止・休止、F:終了			
						担当者	担当課長	評価委員会	理由等
41	58	教育課	子育て支援班	子育て支援センター	子育て家庭の支援活動の企画・調整・実施を担当する職員を配置し、各種事業を通して地域全体で子育てを支援する基盤を形成することにより育児支援を図る。	B	B	B	子育て支援の拠点として、組織の再編を含め、今後も充実し継続することが必要である。
42	60	教育課	子育て支援班	ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭等の医療費を助成することにより、保健及び福祉の向上を図る。	B	B	B	県の補助対応の範囲内で継続することが必要である。
43	161	教育課	生涯学習班	学校支援事業	平成24年度は湯沢小、土樽小をモデル校とし、各校に地域コーディネーターを配属し、学校からの支援要望に対し地域のボランティアを募って学校支援を行う。	A	A	A	学校・家庭・地域の連携を深め、教育の幅を広めるため拡大する。
44	164	教育課	生涯学習班	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業	総合型地域スポーツクラブを支援することにより、スポーツ実施率の向上、地域の活性化及び健康の保持増進等の効果が期待できる。	A	B	A	町のスポーツ環境の発展・充実のため、拡大する。
45	153	教育課	生涯学習班	図書室事業	もっとも身近な図書室として地域の人々に読書をはじめとする情報サービスを提供し、利用者が知識や情報を得たり、レクリエーションを楽しめるようにする。	B	B	B	町民の知識と教養の向上を図るため、継続する。
46	155	教育課	生涯学習班	川上四郎記念 越後湯沢全国童画展事業	越後湯沢全国童画展を開催し、川上四郎氏の功績を伝えるとともに童画のもつ創造性や文化性を織り込んだ個性あふれる魅力的な童画のまちづくりを目指す。	B	B	B	定着している事業であり、継続が必要である。
47	160	教育課	生涯学習班	資料館運営事業	湯沢町の歴史・民俗の資料を展示する「湯沢町歴史民俗資料館『雪国館』」を管理運営する。	B	B	B	指定管理者制度へ移行する。
48	162	教育課	生涯学習班	スキーリフト等共通乗車証購入補助事業	湯沢町スキー振興協会の協力により湯沢の子どもたちが町内のスキー場すべてで利用できる乗車証の購入を補助する。	B	B	B	小中学生がスキーを経験するうえで有効であり、継続する。
49	167	教育課	生涯学習班	ジュニアスキー選手育成・振興事業	スキー振興補助員の配置やジュニアスキー選手育成を補助し、スキーを志すジュニア競技選手を全国的・国際的スキー大会で活躍できるよう育成・強化する。	A	A	B	世界に通用する選手を育てるために指導力の向上が必要であり、継続する。
50	156	教育課	生涯学習班	浅貝分館(体育館)耐震改修事業	浅貝地区の災害時避難場所として指定されているため、当該施設の耐震補強を行う。	F	F	F	浅貝地区の災害時避難場所として指定されているため、耐震改修が必要。